



現地実証期間：2021年（令和3年）6月～2021年（令和3年）9月

目的

小売店の商品や企業間で輸送する貨物などを「無人自動配送ロボット」による地域内シェアリング型サービスで配送し、サービスの有効性・効率性・安全性・社会受容性を評価・検証を行なう。今後のコロナ禍における「遠隔・非対面・非接触」配送の実現と地域生活者の利便性向上、地域の輸送要員不足の解消を目指す。

背景・課題

<社会的背景>

新型コロナウイルスの流行により、宅配事業における従前からの人材不足、過重労働問題に加え、「遠隔・非対面・非接触」への要請の高まり。

<地域課題>

広大な敷地に対し、公共交通機関が脆弱。就労者の小売・飲食店等へのアクセスや、域内の配送効率に課題。

概要

事業のポイント

- ✓ 1台の無人自動配送ロボットを共同利用し、地域内の小売店商品や企業間貨物を配送
- ✓ シェアリングサービスを想定し、従来より大型・高速の車体で車道走行（最高速度：15km/h）（貨物積載部サイズ：W1.5m×D0.9m×H0.5m）
- ✓ 利用予約に基づき（オンデマンド）、集配に効率的な走行ルートを選択
- ✓ 利用者はスマートフォンから対話的に配送予約やロッカーを操作

期待される効果

- ✓ コロナ禍における「遠隔・非対面・非接触」配送の実現
- ✓ 地域生活者の利便性向上
- ✓ 地域の輸送要員不足の解消



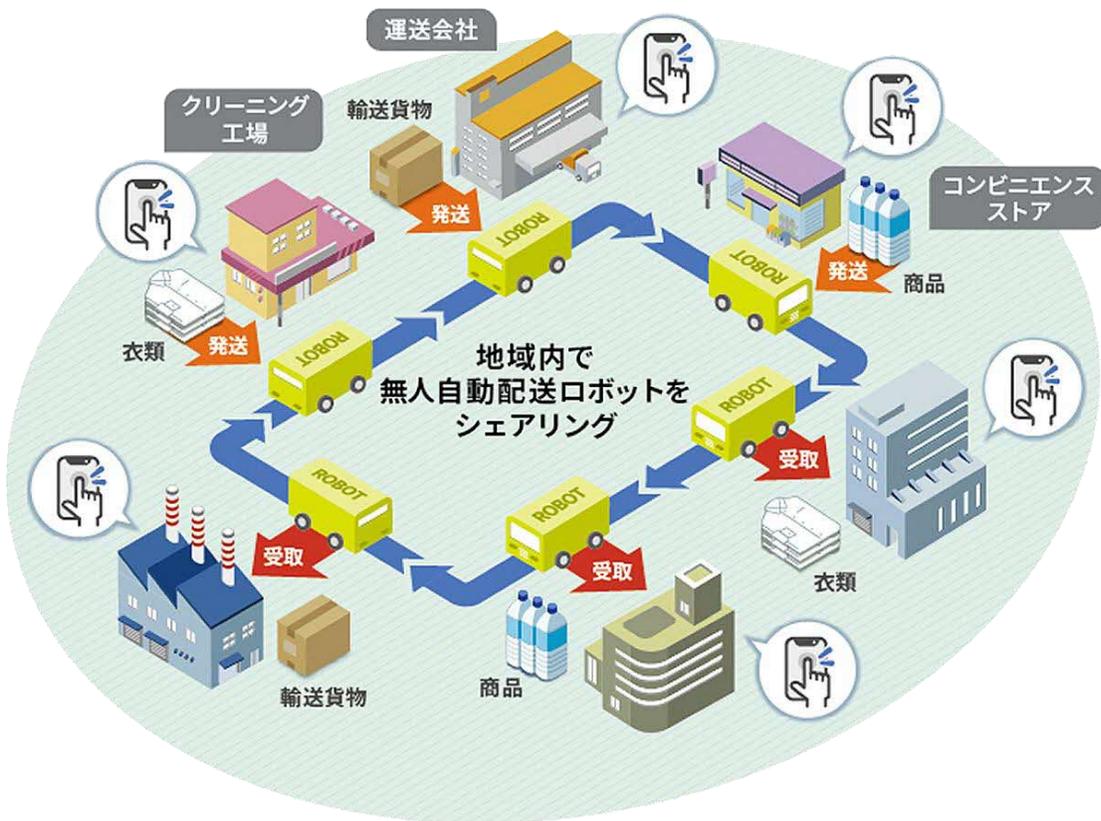
実証推進体制

- 京セラコミュニケーションシステム株式会社

<実証実験協力>

- 早稲田大学大学院 環境・エネルギー研究科 小野田 弘士 教授
- 石狩市
- 株式会社セコマ
- ヤマト運輸株式会社
- 株式会社エンパイアー
- 北海道日野自動車株式会社
- 石狩湾新港企業団地連絡協議会 事務局 石狩開発株式会社
- 石狩新港運送事業協同組合
- 協同組合石狩新港卸センター

サービスイメージ

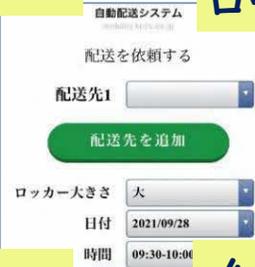


石狩湾新港地域一部区画 実証地域面積:約35ha
 走行ルート総延長:約5km
 歩道付き道路の車道車線(2・4車線)一部幹線道路部分は歩道走行

利用者向けインターフェース

1 スマホで操作
 メッセンジャーアプリを使用

2 配送先、時間を指定、
 ロッカーを予約



3 配達商品を積込む

4 「間もなく到着します」
 メッセージが届く



5 到着
 自分宛てロッカーを開ける



6 配達商品を受け取る

お問い合わせ先
 京セラコミュニケーションシステム株式会社 経営企画部 モビリティ事業開発課
 TEL:03-5765-8503 E-mail:toiawase[アット]kccs.co.jp